

2018年8月31日

西友、IPL Japan の全事業を継承し、生鮮食品を強化

経営判断の迅速化と経営資源の最適化を図り、価格と鮮度を一層強化

合同会社西友（本社：東京都北区、最高経営責任者代行：ミッチェル・スレーブ、以下「西友」と、株式会社 IPL Japan（本社：東京都千代田区、代表取締役 染野 和則、以下「IPL」）は資産譲渡契約を締結し、2019年1月1日付で、IPLの東日本青果センターとコンテナセンター運営に必要な資産の譲渡を受けることにより、これら全ての事業を、西友へ移管し、統合することを決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

西友では、これまでも生鮮食品の品質向上に継続的に取り組んできました。特に、スーパーマーケットで立ち寄ることが多い売り場として「青果」を上げるお客様が多いことから、ここ3年間、青果の包装・加工の機械化及び調達先の見直しなどを行い、業務の効率化を図ることで、継続的に生鮮強化を推進してきました。

今後は、青果の鮮度に対するお客様の期待に、より一層お応えするため、西友で販売する青果の包装、加工及び調達を担当していた IPL の東日本青果センターとコンテナセンターの事業を西友に移管し、「関東青果センター」として西友の商品本部に統合することになりました。

生鮮食品の加工・調達の効率化は、西友において非常に重要な戦略のひとつです。この度の移管により、経営判断のスピードを加速し、経営資源の最適化を行い、より一層、価格と鮮度の強化を目指します。

西友は、今後も、地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様との「約束」である、『信頼を勝ち取るために、どこにも負けない価格と確かな品質で、毎日必要な商品を届ける。店舗でも、そしてネットでも』を実現するため全力を尽くしてまいります。

■株式会社 IPL Japan（アイピーエルジャパン）について

合同会社西友の生鮮食品流通部門の協力会社として30年以上に渡る実績を持つ株式会社帆栄物流と合同会社西友が業務提携し、2016年2月1日に設立いたしました。特に規制緩和や再編成が進む農産物の流通において、温度管理、品質管理はもとより、商品の調達から加工、物流までを一貫してサポートし、お客様に安心、安全な商品を適正な価格でお届けできるよう物流サービスを提供しています。

- ・住所 : 東京本社 東京都千代田区飯田橋 4-1-11 信濃ビル 3階
- ・代表取締役 : 染野 和則
- ・従業員数 : 80名（パート従業員含む）

- ・東日本青果センター（埼玉県川越市、生産能力 年間 5,000 万パック）

■ 合同会社西友について

西友は、日本国内で北海道から九州まで幅広いエリアをカバーする店舗網を有し、生鮮食品を含む食料品、衣料品、住居用品などを取り揃えた売場を運営しています。お客様に対する私たちの約束である「信頼を勝ち取るために、どこにも負けない価格と確かな品質で、毎日必要な商品を届ける - 店舗でも、そしてネットでも」の実現に向け、「価格」、「鮮度と品質」、「品揃え」、「利便性」という 4 つの柱に基づいた価値あるお買物の機会を提供しています。さらに、親会社である米国ウォルマート社のグローバルなネットワークやスケールメリットを十分に活かしつつ、日本のお客さまの嗜好やニーズに合った売場を積極的に展開しています。

- ・住所 : 本社 東京都北区赤羽 2-1-1
- ・最高経営責任者 (CEO) 代行 : ミッチェル・スレープ
- ・従業員数 : 23,576 名（臨時雇用者 18,682 名含む※8 時間換算人数）
(2018 年 1 月 1 日現在)

この件に関するお問い合わせ :

合同会社西友 企業コミュニケーション部 広報室 03-3598-7760